

どうやったら作れる？美味しくて大きな ニホンナシ「はつまる」と「甘太」

みなさんは「はつまる」や「甘太」という梨を御存じですか？
「はつまる」は7月上旬から収穫できる良食味品種です。果実がやや小さい品種ですが、植物ホルモンである「ジベレリン」を幼果の軸に塗付することで果実を大きく成長させることができます。また、収穫期も早まります。

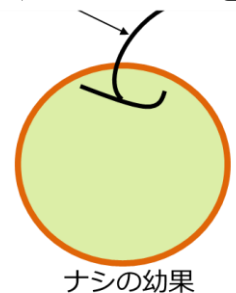
「甘太」は9月中・下旬から収穫できる糖度が高い良食味品種です。安定して高糖度な果実を収穫するためには、果実1個当たりの葉の枚数を35～40枚程度に調整すると良いことが分りました。

「はつまる」のジベレリン処理が
果実に及ぼす影響

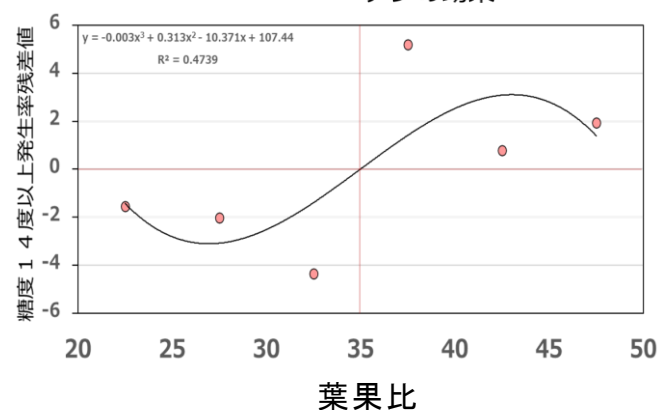
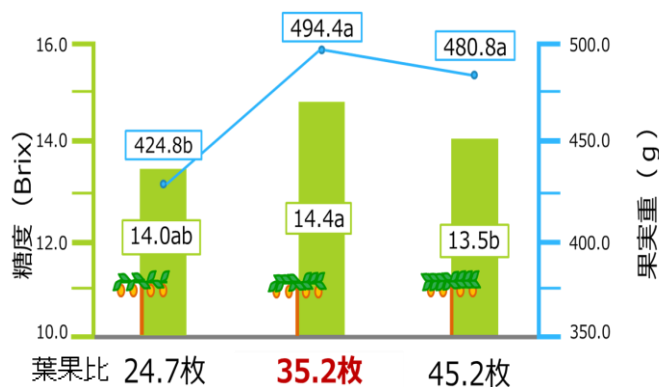
調査年度	処理区	収穫盛期	果実重 (g)	果肉硬度 (lb)
2023	ジベレリン処理	7月8日	283.7	4.5
	無処理	7月10日	246.3	4.3

ジベレリン処理

満開から30～35日後の
幼果の軸の部分に
ジベレリンペーストを塗布



ジベレリン処理を行うことで、果実の肥大が促進されます。
また、収穫期が早まることが明らかになりました。



「甘太」の葉果比と果実品質の関係
※異符号間に5%水準で有意差あり

葉果比別に果実の
糖度を調査した結果、35枚程度で
糖度が最も高くなりました。

「甘太」の糖度14度以上の
発生率と葉果比の関係

葉果比が35枚以上で糖度14度以上の
果実が安定的に生産できることを示して
います。